



京都から 企業家エコシステムを 考える

京都ものづくりバレー構想の研究と推進
(JOHNAN) 講座 2022 シンポジウム

2022.12.3 [土] at 京都大学

第一部：基調講演・パネルディスカッション

13:00-15:30 at 京都大学

総合研究8号館NSホール

第二部：分科会でのディスカッション

16:00-17:00 at 京都大学 4会場にて

基調講演スピーカー

堀場 厚 氏

株式会社堀場製作所 代表取締役会長兼グループCEO

2022年シンポジウムは、参加の皆様実際に京都大学にお越しただいて開催します。

これまでにメガベンチャーをいくつも育みながら、現在決して先進的では有るとは言えない、京都という都市にとって、いま何が必要なのかと考えることを考えて行きます。基調講演のあとはパネディスカッション、そして4つのワークルームにわかれてさらに深い意見交換会を行っていただきます。

久しぶりのリアル講演とワークルームでの参加型ディスカッションに、ぜひご来場ください。

プログラム

第一部 13:00 開会挨拶

13:10 基調講演「京都から世界へ、100年続くベンチャーが生まれ育つ都に必要なもの」

14:20 パネルディスカッション「京都から世界へ」×「世界から京都へ」

15:20 閉会挨拶

第二部 16:00 分科会でのディスカッション

17:00 終了

分科会 #1 ゲストトーク「シリコンバレーの投資家と語ろう-日米企業家エコシステム-」

ゲスト：アニス・ウツザマン 氏

モデレーター：今庄啓二客員教授

分科会 #2 演劇的アントレプレナー・ワークショップ「マイノリティを演じる：ダイバーシティとステレオタイプ」

19:30 終了

ゲスト：田中秀彦氏 成安造形大学空間デザイン領域 准教授

モデレーター：柳淳也特定助教

分科会 #3 エコシステム研究会「みんなでエフェクチュエーション大座談会」

ゲスト：吉田満梨神戸大学准教授、谷口千鶴氏

モデレーター：竹林一客員教授

分科会 #4 Human Robot Collaboration 研究会「サイボーグ人類学から考える倫理と哲学」

ゲスト：中原林人 氏

モデレーター：上野敏寛特命講師

お問い合わせ：100年続くベンチャーが生まれ育つ
都研究会事業
info@kmv.kyoto

お申し込みは右記のQRコードから
<https://peatix.com/event/3414439>



スピーカーご紹介



株式会社 堀場製作所 代表取締役会長兼グループ CEO

堀場 厚

1971年 米国・オルソン・ホリバ入社。

1977年カリフォルニア大学アーバイン校電子工学科修士課程を修了し、堀場製作所に帰任。

1992年から代表取締役社長を務め、2005年より代表取締役会長を兼務。2018年より現職。社長就任時、年間約400億円であったHORIBAグループの売上高を2,200億円超にまで拡大させ、従業員約8,200名、世界28か国に展開するグローバル企業へと成長させた。

2010年より京都商工会議所副会頭、2020年より関西経済連合会副会長・関西文化学術研究都市推進機構理事長に就任するなど、地元経済の発展に尽力している。

2018年よりソフトバンク、2021年より住友電気工業の社外取締役に就任し、現在に至る。政府の公的委員会にも招聘され、産業構造審議会の製造産業分科会委員、内閣府の国と行政の在り方に関する懇談会委員などを歴任。日本電気計測機器工業会や日本分析機器工業会など業界団体の会長も歴任した。

1998年 仏・国家功労章オフィシエ、2010年 仏・レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ、2019年 旭日中綬章を受章。2015年モンペリエ大学より名誉博士号取得。



ペガサス・テック・ベンチャーズ代表 創業者兼CEO

アニス・ウツザマン

東京工業大学工学部開発システム工学科卒業。オクラホマ州立大学工学部電気情報工学専攻にて修士、東京都立大学(現・首都大学東京)工学部情報通信学科にて博士を取得。IBMなどを経て、シリコンバレーにてPegasus Tech Venturesを設立。現在は、投資家であるとともに、東南アジア最大のテックメディアTech in Asiaをはじめ、Affectiva、Lark、Asteriaなどにおいて社外取締役を務める。著書に、一橋大学名誉教授である米倉誠一郎氏との共著「シリコンバレーは日本企業を求めている世界が羨む最強のパートナーシップ」(ダイヤモンド社)などがある。



JOHNAN株式会社 代表取締役社長兼CEO
京都大学特命教授

山本 光世

同志社大学神学部卒。米国ミシガン大学ビジネススクール卒MBA、同大学自然資源環境大学院卒MS。ベンチャー支援会社にて経営コンサルティング、新規事業開発を経験。その後、2010年にJOHNAN株式会社代表取締役に就任、現在に至る。一般社団法人京都試作ネット常任理事。



京都大学特定助教

柳 淳也

大阪市立大学経営学研究科前期博士課程・後期博士課程修了。博士(経営学)。2014年に任意団体を設立し、関西を中心に子ども教職員、自治体、企業向けにLGBTQを含むダイバーシティ研修を幅広く手掛ける。大阪府立大学高等教育推進機構にて特認助教を務め、現職に至る。



京都大学特命講師

上野 敏寛

龍谷大学経営学部、龍谷大学大学院政策学研究科修士課程、同博士後期課程修了。博士(政策学)。龍谷大学地域公共人材・政策開発リサーチセンター(LORC)嘱託研究員等。



京都大学経営管理大学院客員教授

今庄 啓二

京都大学工学部合成化学科卒。慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了(MBA)。鐘淵化学工業(現カネカ)で電子材料の研究開発、新規事業開発を担当後、フューチャーベンチャーキャピタルにて投資担当者等を経て、2011年代表取締役社長。2017年会長退任。現在、内田洋行、大阪油化工業、JOHNAN社外取締役。関西学院大学大学院客員教授等。



京都大学経営管理大学院教授

山田 仁一郎

中央大学商学部会計学科卒業、北海道大学大学院経済学研究科修了(博士・経営学)、大阪市立大学大学院経営学研究科教授等を経て、現職。現在、日本ベンチャー学会副会長、組織学会評議員等。



京都大学経営管理大学院客員教授

竹林 一

大阪電気通信大学情報工学科。立石電機(現オムロン)入社。流通・鉄道業界の大型プロジェクトPM、新規事業推進。以後オムロンソフトウェア代表取締役社長、オムロン直方代表取締役社長、ドコモ・ヘルスケア代表取締役社長を経てオムロン株式会社インキュベーションセンター長、一般社団法人データ流通推進協議会 理事等を務める。



京都大学経営管理大学院客員准教授

山川 賢記

公認会計士。監査法人トーマツ、京都の税理士法人を経て、山川会計事務所を設立。